

(様式第5号)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名： 長野県銃剣道連盟]

[記載日： 令和8年6月16日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	A B C
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 公益社団法人全日本銃剣道連盟定款に基づき、長野県銃剣道連盟規則を遵守し、改正箇所については協議し、賛同後改正している。	Ⓐ B C
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 事業計画を作成し、計画に基づき執行し、変更箇所は理事会にて協議し施行にあたる。	Ⓐ B C
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 中央競技団体の規約改正により、連続10年を超える役員は退任するよう改正があり、これにより県連も遵守する。	Ⓐ B C

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。

(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	Ⓐ B C
-----------------------------------	-------

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

基本方針は連盟ホームページで公表している。

原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。

(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	Ⓐ B C
---	-------

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

中央競技団体よりコンプライアンス教育を受け、県連においても理事会及びその他の事業実施時を利用し教育を実施している。

(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	Ⓐ B C
--	-------

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

指導者及び選手に対し研修会参加を推進し、大会等を通じて教育を実施している。

原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。

(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	Ⓐ B C
-------------------------------------	-------

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

内規により会計処理を会計理事が実施、ダブルチェックにより処理にあたっている。

(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	Ⓐ B C
--	-------

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

会計理事とのダブルチェックにより適正に処理にあたっている。

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	Ⓐ B C
------------------------------------	-------

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

会計処理は二重チェックにより、年度末には監査会実施。

原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。

(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	Ⓐ B C
---------------------------	-------

（現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等）
選手からのヒアリングを実施、ホームページにより開示している。

(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	Ⓐ B C
------------------------------	-------

（現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等）
積極的にホームページにより開示している。